

# AOB Seminar

**西村 卓也 博士**

(国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター)

**日時：6月22日（月）16:30-18:00**

**場所：地震・噴火予知研究観測センター  
第1会議室**

**題目：地殻変動データに基づく十勝沖地震、  
根室沖地震のすべり域とプレート間  
カップリング**

## 要旨

測地測量等によって得られた地殻変動データに基づく千島海溝沿いに発生したプレート境界型地震のすべり分布の再解析を行った。その結果、1952年と2003年の十勝沖地震は、ほぼ同じ領域を破壊し、1973年根室半島沖地震の破壊域とは50km以上の未破壊域があることがわかった。一方、1999年から2003年十勝沖地震発生以前の地殻変動データから推定されたプレート間の固着強度は、根室沖地震、十勝沖地震の震源域で特に強く、アスペリティの分布を反映していると考えられる。

主催：東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター Tel: 022-225-1950 (代表)

Center HP: <http://www.aob.geophys.tohoku.ac.jp/education/seminar/aob-seminar/>

お問合せ先: [miura@aob.geophys.tohoku.ac.jp](mailto:miura@aob.geophys.tohoku.ac.jp)